日本生物教育学会第107回全国大会(2023年3月4日) 特別セッション「生物教育における国際交流の活性化に向けて」 発表スライド(一部改変)

生物教育における国際交流の活性化に向けて

アジア生物学教育協議会 (AABE)での実績

> 片山舒康 生物教育研究所

# AABEってどんな団体?

The Asian Association for Biology Education (アジア生物学教育協議会)

設立:1966年

主にアジア地域の、生物教育(および環境教育) に関わっている、あるいは関心のある人たちが つくっている学会(NPO団体)

現在の事務局:マニラ(フィリピン)

会員:生物(生命科学)の教員,研究者,教育機関の職員,教育行政関係者など 会員資格は2年ごとに更新

## AABEの目的・目標

- ・アジア諸国の生物教育と生物学研究を改善・促進する
- ・生物教育者や生物研究者等が定期的に集まって 意見・情報交換をする
- ・各地域の生物教育資源(物的・人的)の活用を促進する
- ・各国に生物教育や生物学研究機関の設置を促進する
- ・各国の組織や機関と教材・論文や論文集の交換, 教育者や研究者の交流,意見・情報交換ができ るセンターを設立する

### AABEは何をしている?

- ➤隔年会議(Biennial Conference)開催
- > 隔年会議報告・論文集(Proceedings)発行
- ➤ Online Journal 発行 2022年までに14巻発行
- ➤ Newsletter 発行 2022年までに10号発行
- ➤ 30周年記念誌発行(1996年)

AABEのウェブサイト
aabe-asia.org および aabe.sakura.ne.jp

## AABEは何をしている?

#### 隔年会議(Biennial Conference)

- ・二年に一度、偶数年に開催
- ・一つまたはいくつかのテーマを設定 それに関する講演や研究発表
- ・テーマと関係しない研究発表もOK
- ・Country Reports (各国の生物教育の現状報告)
- ・2022年4月 第28回 Onlineで開催
- ・2024年10月 第29回日本(松山市)で開催予定

# 隔年会議の開催

- 第1回(1966)マニラ(フィリピン)
- 第2回(1968) 東京(日本)
- 第3回 (1970) マニラ (フィリピン)
- 第4回(1972) エルサレム(イスラエル)
- 第5回 (1974) シンガポール
- 第6回 (1976) バンコク (タイ)
- 第7回(1978) クアラランプール(マレーシア)
- 第8回(1980)大阪・岐阜(日本)
- ・ 第9回(1982) メルボルン(オーストラリア)
- 第10回(1984)チェンマイ(タイ)

# 隔年会議の開催

- 第11回 (1986) ケソン (フィリピン)
- 第12回(1988) ニューデリー(インド)
- 第13回 (1990) ソウル (韓国)
- 第14回(1992)メルボルン(オーストラリア)
- 第15回(1994)東京(日本)
- 第16回 (1996) チェンマイ (タイ)
- 第17回(1998)パサイ(フィリピン)
- 第18回 (2000) 香港
- 第19回(2002) ワーナンブール(オーストラリア)
- 第20回(2004) チェンマイ(タイ)



第15回隔年会議(1994年8月,東京)

# 隔年会議の開催

- 第21回(2006)公州(韓国)
- 第22回 (2008) 大阪 (日本)
- 第23回(2010)シンガポール
- 第24回(2012)ケソン(フィリピン)
- 第25回 (2014) クアラランプール (マレーシア)
- 第26回(2016)ゴア(インド)
- 第27回(2018)バンコク(タイ)
- 第28回(2020)天津(中国)予定
  - ⇒ COVID-19のために延期
  - ⇒ (2022) オンライン (フィリピン)







**Program and Abstracts** 

ANA Gate Tower Hotel, Osaka, Japan November 21-24, 2008



A distant view of Kansai Airport from the conference venue (Photo: T. Kaga)



A coastal view of Osaka Bay area from the conference venue (Photo: T. Kaga)



第22回隔年会議(2008年11月,大阪)







第22回隔年会議(2008年11月,大阪)



第22回隔年会議(2008年11月,大阪)

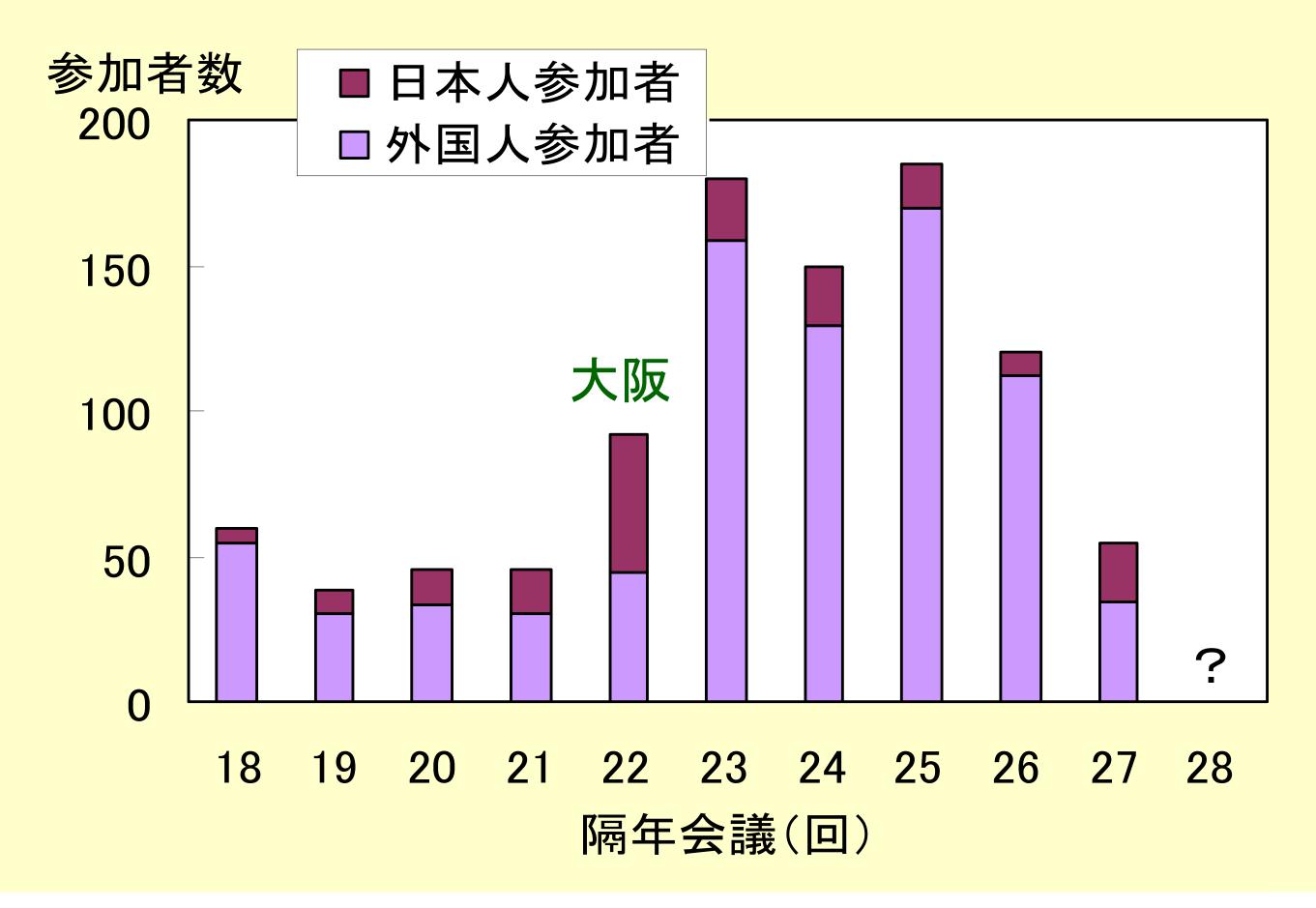




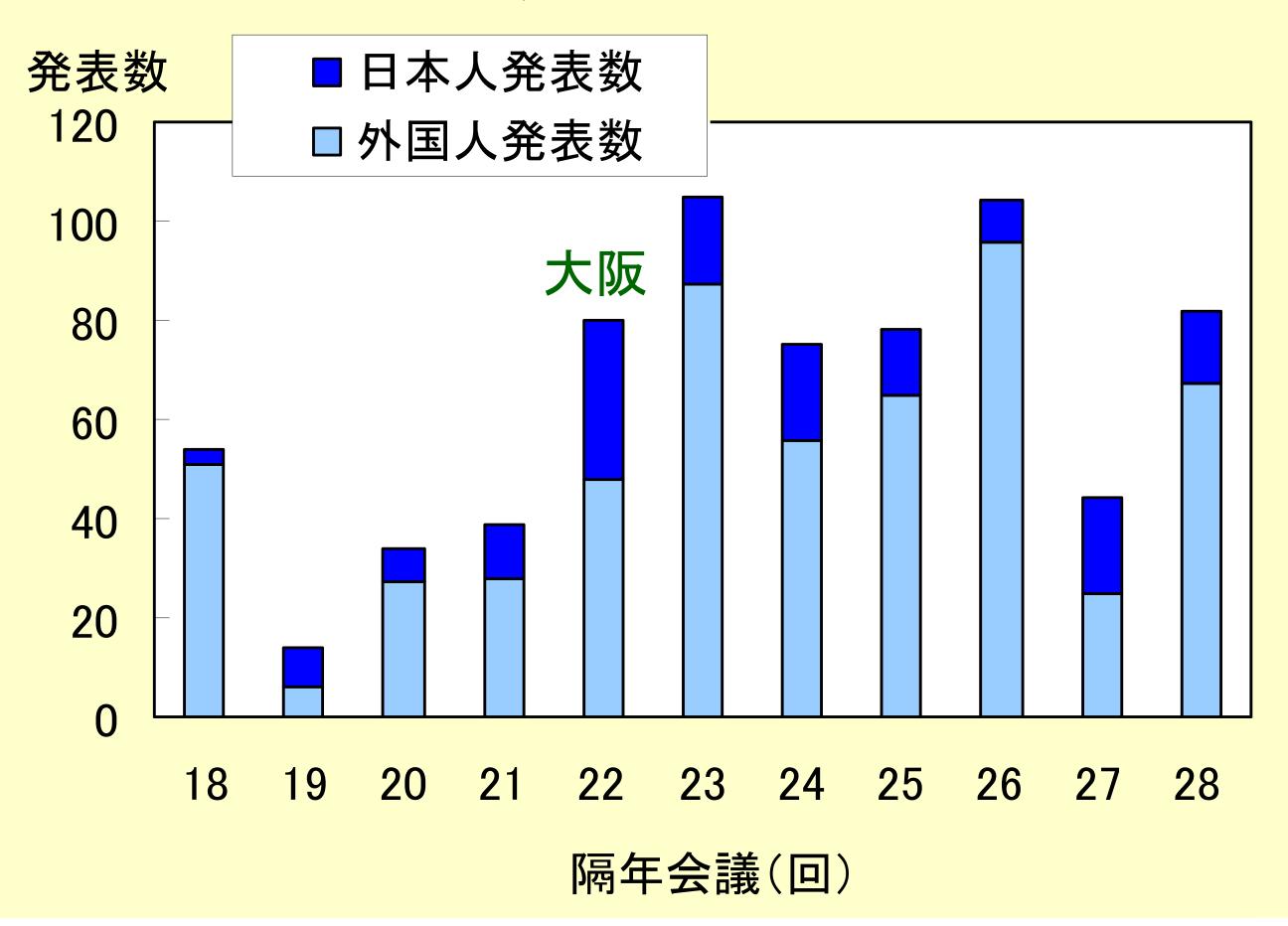




#### 隔年会議参加者総数と日本人参加者数



#### 隔年会議発表総数と日本人発表数

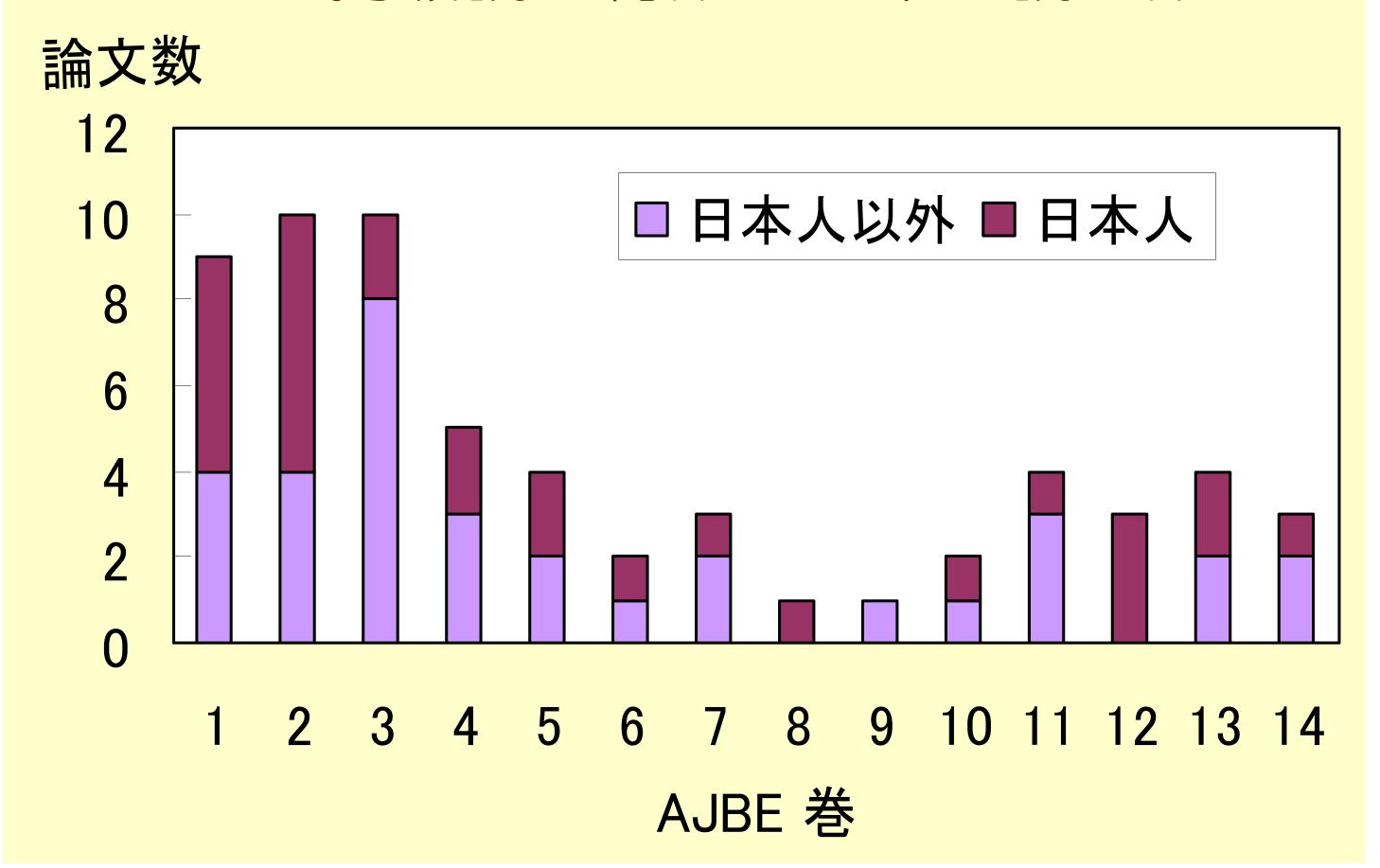


### AABEは何をしている?

隔年会議報告・論文集(Proceedings)発行 第1回~第17回隔年会議 冊子体のProceedings

Online Journal 発行(J-stageに登録) Asian Journal of Biology Education(AJBE) 2002年創刊,2022年現在14巻まで発行 http://www.aabe.sakura.ne.jp/Journal.htm

#### AJBE掲載論文総数と日本人論文数



# AABEの概要を知るには

- 越田 (1997) アジア生物学教育協議会30年の歩み 生物教育34(3):246-255
- 各隔年会議参加報告
  生物教育 50(2):71-79, 52(1):38-40,
  54(1):27-31, 55(3·4):214-216, 58(3):155-158
- 1~17回隔年会議Proceedingsの目次 AJBE10(2018)17~39頁
- 第18回〜第28回隔年会議の講演・発表要旨 AJBE 各巻(1, 10, 12, 13巻を除く)

# 第29回隔年会議のご案内

- 会場:愛媛大学(松山市)
- 日程:2024年10月12日(土)~14日(月)
- テーマ: Perspectives for global well-being:
   Biology education in the integrated learning
- 参加費:120米ドル
- 懇親会費: 60米ドル
- ・ エクスカーション:40米ドル

皆さんの参加・発表を期待しています